

東鷹栖まちづくり推進協議会 会議録（令和7年度 第2回）

| | |
|--|--|
| 日時 | 令和7年12月11日（木）午後6時30分～午後8時00分 |
| 場所 | 旭川市東鷹栖支所 大会議室 |
| 出席者 | 委員11名 安藤委員、石井委員、岡田委員、川瀬委員、栗山委員、千葉委員、中田委員、西塚委員、野中委員、濱坂委員、山田委員 |
| | オブザーバー2名 今村東鷹栖公民館長，細矢地域まると支援員 |
| | 地域活動推進課 平島主幹 東鷹栖地域活性化協議会 中島会長、川添氏 |
| | 事務局（東鷹栖支所長ほか2名） |
| 会議の公開・非公開 | 公開 |
| 傍聴者 | なし |
| 会議資料 | <p>【当日配付】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・資料1 「東鷹栖まちづくり推進協議会」委員名簿 ・資料2 地域まちづくり推進協議会委員改選における委員の構成について ・資料3 東鷹栖まち協 アンケート結果まとめ |
| 会議内容 | |
| <p>※ 開会前に、事務局から、渡瀬千代美委員が推薦団体の末広・東鷹栖地域包括支援センターを9月いっぱい退職し、後任として同センターの副センター長である山田竜一氏に就任いただいている旨の報告があった。</p> | |
| 1 開会 | |
| 2 会長挨拶 | 千葉会長から挨拶があった。 |
| 3 報告事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・旭川市地域自治推進ビジョンの改訂について 地域活動推進課から、旭川市地域自治推進ビジョンの改訂について説明があった。質問・意見等はなかった。 ・東鷹栖地域活性化協議会から事業の進捗状況の報告等 同協議会中島会長から、事業の進捗状況の報告があり、また、まち協委員に対して、アンケート記載の依頼があった。 (委員) 活動は東鷹栖全体で行っているのか。それとも数名で行っているのか。 (中島会長) 4名の米農家と1名の民泊運営者として活動している。 (委員) 民泊を行っていること自体を我々も知らないなので、もっとPRした方がよい。 (委員) |

| | |
|-------------|---|
| | <p>2月にはビールを販売できるようになるのか。 (中島会長)</p> <p>お酒は販売に係る免許が必要なので、まだ時間がかかる。また、国の助成金事業なので販売できない部分もある。デザインも活用して認知度を高めていきたい。</p> |
| <p>4 議事</p> | <p>(1) 令和7年度事業報告について</p> <p>○ ふまねっと事業 (委員)</p> <p>この事業は今年で8年目を迎えた。現在会員は13名で、そのほか本部から2名のサポーターが来ている。月2回開催している。以前、西町内会の親交会館でも実施していたが、亡くなった方や高齢化が進み、今年の8月に終了した。公民館での事業は会員の出入りはあるが、一人でも多くの方に参加いただきたい</p> <p>○ 東鷹栖さろんカタクリ (委員)</p> <p>先日、24名の参加があり、たいせつの郷の施設訪問を行った。 普段の参加者はコロナ禍以降減って22～23名程度であるが、毎月いろいろな催しを行っている。</p> <p>○ バドミントン支援事業 (委員)</p> <p>近文第二スポーツ少年団は今年、新入団員が増え、現在は17名で活動している。他の少年団との交流会の様子をSNSで発信している。</p> <p>○ 太鼓支援事業 (委員)</p> <p>太鼓の体験会を実施しているが、夏にはこまどり保育園で盆踊り、東地区と中央地区の市民委員会の盆踊りと興国神社祭においても演奏を行った。 [委員からの質問なし。]</p> <p>(2) 委員改選について</p> <p>事務局から、資料2に基づいて、「どの団体から何名選定するのかしないのかは、各地域で決定できるようになった」旨、また、「公募委員は定数の2割以上が目標」であるため、定数がこれまで同様、12名の場合の公募委員は3名となる旨を説明。 [委員からの質問なし。]</p> <p>(会長)</p> <p>それでは、東鷹栖まち協はこれまでどおり、団体数12、団体推薦委員数12、公募委員数3とすることよろしいか。 [よし。]</p> |

なお、年明けの1月中旬には、各団体に対して委員候補者の推薦を依頼するとともに、公募が行われる予定なので、よろしくお願ひしたい。

(3) 分科会に関するアンケート結果等について

○ 事務局から、資料3の「分科会の開催についての意見」について説明。
(事務局)

第1回まち協後に、議論を活発にするために分科会のかたちで少人数で会議をしてはどうかという趣旨で委員の皆さんにアンケートを行った。

結果を見る限りでは、すぐに分科会を設定する必要性を感じている委員が多くはないようであるが、いかがか。

(委員)

物事を決める際、人数が多いと意見を出しにくい。少人数であれば思ったことを言いやすいので、少人数に分けたグループでの討議がよいのではないか。

(委員)

分科会と言っても漠然としているので、話し合う議題を決めてから考えることでよいのではないか。

(委員)

分科会の設置について、ある程度の判断が本日必要か。

(事務局)

期限はない。予め分科会をつくっておくという考えもあるが、やはり議題あつてのことなので、今後、話し合うべき議題が出た段階で、あらためて分科会としての協議の必要性について相談させていただきたい。

○ 事務局から、資料3の「アイデア提案」について説明。

(委員)

旭川は地震が少なく、津波もないので、いざという時にどこに避難すべきなのか分かっていないのではないか。この地域は公民館ではなく中学校であるという情報を伝えるべきである。

(事務局)

現在、全戸に配布されている防災マップに避難所について記載されている。

(委員)

防災マップに「避難所を特定できているか」などのチェックリストが付いているとよいのだが。

(委員)

避難所に早く到着した際、まだ開設されていないということもあつた。

(委員)

防災について意見があつたが、その取組以前に取組を進める人が重要である。アイデア提案の3に「町内会の衰退・立て直し」とあるが、高齢者

| | |
|-------|---|
| | <p>の安否確認を隣家の人がするなど、人と人との結びつきの仕組みをつくっていかなくてはならないのではないか。</p> <p>(委員)</p> <p>町内会が無くなってきていることから、地域の交流が無くなってきている。このような状態で災害が起こると心配である。</p> <p>(委員)</p> <p>町内会ということを前面に出すと拒否感が出てくると思うので、防災については町内会ありきではなく、「防災について人と人との繋がりをこうしていきましょう。」という話し合いができるとういのではないか。</p> <p>(委員)</p> <p>末広地区における防災に係るワークショップでも「町内会に加入していない世帯はどうなるんだ」という話題が出ていた。</p> <p>これからは町内会という単位に縛られずに、お互いに助け合わなければならない時代であるので、防災についても皆で知恵を出し合うような取組を進めていけるとよいのだが。</p> |
| 5 その他 | <p>事務局からの事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康カレンダーの配付について ・委員報酬について ・次回のまち協会議の日程について |
| 6 閉会 | |